

令和 6 年度包括的支援事業・任意事業実績

【地域包括支援センター運営事業】

地域包括支援センター運営協議会において報告

【在宅医療・介護連携推進事業】

●在宅医療・介護連携推進事業

- ・在宅療養者の災害対策について、アンケート調査を実施。また両町の個別避難計画についての現況を確認し、研修会を開催。在宅療養者の災害対策について、関係機関で現状の情報共有、課題、対策を考える機会となった。

・研修会

令和 7 年 3 月 11 日 Web 研修会

『在宅療養者の災害時の個別避難計画策定に向けて』

基調講演：二宮町防災安全課、大磯町危機管理課

シンポジウム：中郡在宅医療・介護連携支援センター委員 本橋みどり氏
 オリーブケアマネステーション管理者 山口真治氏
 りんどうりハビリ看護ステーション管理者 山橋 学氏
 大磯町西部地域包括支援センター統括管理者 岩本朋子氏

●在宅医療・介護連携に関する相談支援

二宮町保健センター内の在宅医療・介護連携に関する相談窓口として、連携支援センターにおいて専門職への相談支援を実施（件数 4 件）

●在宅医療多職種連携事業

・研修会

令和 7 年 2 月 9 日（日）

『在宅医療・介護が支える自分らしい地域の暮らし～中郡にある介護事業所を知り、実際の在宅サービスを知ろう～』

講師：二宮町包括支援センターなのはな 管理者 石川慎輔氏
 合同会社 地域包括ケアステーション 代表 木内健太郎氏

【生活支援体制整備事業】

●第 1 層協議体（お互いさま推進協議会）

- ・12、2 月に協議会を開催。

令和 6 年度から実施の、ごみ出しサポート収集事業と高齢者移動支援事業の現状報告や 2 層協議体の報告等行い、情報共有と検討を行った。

●第 2 層協議体（地域の協議体）

- ・一色小学校区「いちふく」年 4 回開催、二宮小学校区「クローバーの笑・和・輪」、山西小学校区「たんぼぼささえたい」は年 1 回開催し、地域の通いの場の情報共有や地域の課題について話し合いを行った。

●二宮町みまもりガイド

- ・二宮町みまもりガイドの説明を、中学校や高校での認知症サポーター養成講座等でも説明し、若い世代にも見守り活動の必要性について普及啓発を行った。

●福祉有償運送運転者講習会

- ・2月16日、3月2日に生涯学習センターラディアンにおいて開催し、12名が参加した。他市町村での移動サービス事例等の他車両運転等の実技講習やグループワークを実施した。

【認知症総合支援事業】 地域包括支援センター運営協議会で報告

●初期集中支援推進事業

- ・認知症初期集中支援チーム対応 0件

●地域支援・ケア向上事業

- ・認知症総合相談延べ件数 75件
- ・にのにかフェの開催 24回
- ・認知症サポーター養成講座開催 8回 245名受講
- ・認知症サポーターのつどい 6回
- ・認知症サポーターステップアップ講座 1回
- ・行方不明 SOS 登録者に見守りキーホルダー配布 17名
- ・9月の世界アルツハイマー月間に、認知症講演会の開催、図書館の特設コーナーにおいて認知症関連図書の紹介を行ったほか、地域包括支援センターの実習生協力のもと、役場庁舎に特設コーナーを設置
- ・ともしびショップで認知症予防メニューの提供

【任意事業】

●介護サービス相談員派遣事業

定例会 12回開催、10事業所に 88回派遣

●介護給付費適正化事業

- ・ケアプランの点検の実施（6事業所 対象利用者 18名分）
- ・住宅改修等の点検・医療情報との突合、縦覧点検
- ・介護給付費通知を 1,448名に送付

●住宅改修支援事業

- ・住宅改修理由書の作成を行った居宅介護支援事業所 2事業所に対し、補助金交付

●成年後見制度利用支援事業（後見人等への報酬助成 3件・町長申立て 2件）

●シルバー緊急通報システム事業補助金

- ・町社会福祉協議会の事業実施にあたり補助金交付。令和4年7月より、機能向上を目的とした新機種への切替を実施。開閉センサーなどにより、独居高齢者等の見守りにも役立っており、設置数は年々増加している。3月末時点で 288名設置。